

男女ともに支え合い

みんなが活躍できるまち いたこ

潮来市

第2期

男女共同参画

基本計画

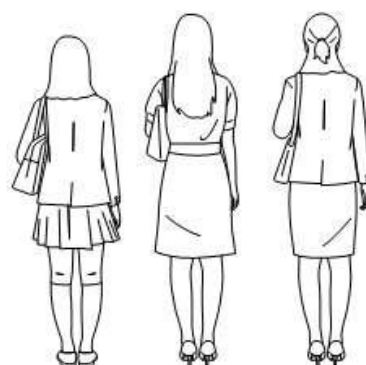
令和3年3月

令和8年3月 中間見直し版（素案）

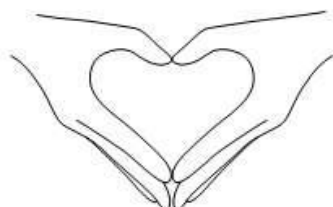


Gender Equality

Work-Life balance



Women's Empowerment



Eradication of Violence

市長ごあいさつ

潮来市では、令和3年3月に「第2期潮来市男女共同参画基本計画」を策定し、「男女ともに支え合い、みんなが活躍できるまちいたこ〜性別ではなく、その人らしい生き方ができるまちづくり〜」を掲げ、男女共同参画社会の実現に向けて、市民・事業者・団体の皆様と連携協力のもと様々な施策に取り組んでまいりました。

この間、女性の就業率の向上や男性の育児休業取得への理解など、着実な進展が見られます。一方で、デジタル化の加速やライフスタイルのさらなる多様化、さらには孤独・孤立問題への対応など、私たちが向き合うべき課題もまた、社会全体で複雑化・高度化しています。

このたび、計画の中間年を迎えるにあたり、これまでの取り組みの成果を検証し、現在の社会情勢を反映させた中間見直しを実施いたしました。今回の改定では、性別に関わらず誰もがその個性を発揮し、仕事や家庭、地域において「自分らしく」活躍できる環境づくりを一層加速させることを目指しています。

男女共同参画社会の実現は、行政だけでなく、市民、事業者、団体がそれぞれの場で手を取り合うことで成し遂げられるものです。本計画が、市民一人ひとりが輝き、互いを尊重し合える潮来市の未来を創るための確かな指針となるよう、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、見直しにあたり、潮来市男女共同参画審議会委員をはじめ、貴重なご意見をいただきました市民・事業者・団体の皆様に心から感謝申し上げます。

令和8年 3月

目次

1 基本計画と中間見直し

- ①将来像と基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ②基本目標と施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ③中間見直しの目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2 第2期基本計画策定後の取組み

- ①事業の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ②審議会の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ③広報・イベント・周知・啓発等・・・・・・・・・・ 3
- ④令和7年度アンケートの実施状況（概要）・・・・ 4

3 基本目標の成果指標結果と最終年度の目標値・・・・・・・・ 5・6

4 計画最終年度（令和12年度）に向けて・・・・・・・・・・ 7～10

別冊 資料編

- ①潮来市第2期男女共同参画基本計画
- ②組織改編にともなう変更
- ③令和6年度実施調査
- ④令和7年度市民アンケートの実施結果
- ⑤令和7年度事業所アンケートの実施結果
- ⑥関係法令等

1 基本計画と中間見直し

①将来像と基本理念

○将来像

男女ともに支え合い みんなが活躍できるまち いたこ

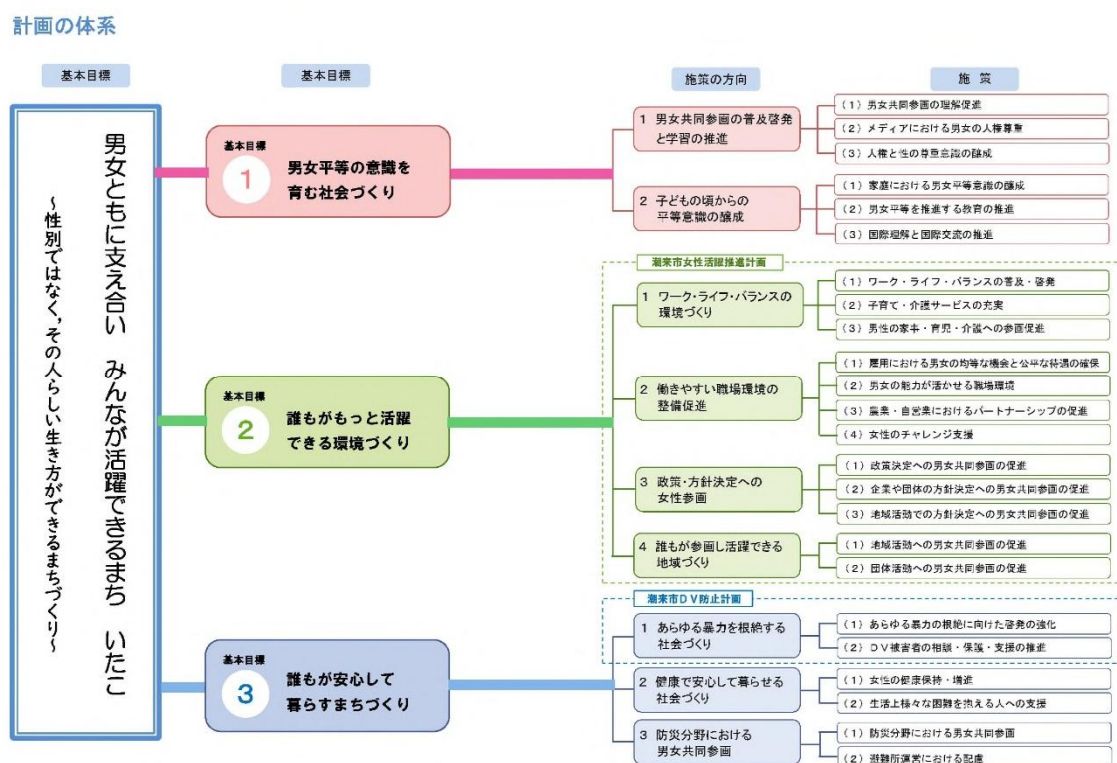
○基本理念

～性別ではなく、その人らしい生き方ができるまちづくり～

本計画では「性別」よりも「個性が」尊重され、すべての人々が生き生きと暮らせることを最も大切にしていくこととし施策を行ってまいりました。令和12年度までの残り5年間も引き続き将来像と基本理念は変えず、まちづくりを進めてまいります。

②基本目標と施策

3つの基本目標と24の施策を掲げ、目標の実現に向けて主要事業を行っています。



③中間見直しの目的

潮来市第2期男女共同参画基本計画（令和3年～令和13年までの10か年計画）において、中間の振り返り地点として、これまでの取り組みについて点検・評価・改善を行い、後半期の加速化を図ることを目的としています。各基本目標に掲げられた成果指標の達成状況を、潮来市男女共同参画審議会において、客観的に分析し、社会情勢の変化を踏まえながら、取り組むべき事項を整理します。

2 第2期基本計画策定後の取組み

①事業の実施状況

潮来市では、潮来市第2期男女共同参画基本計画を策定し、3つの基本目標と24の施策に基づき、さまざまな事業を行っています。事業の実施状況については、潮来市男女共同参画基本条例第9条に基づき、公表及び後述の審議会に報告をしています。

実施状況はQRコードまたはURLからご覧いただけます。

<https://www.city.itako.lg.jp/page/page003074.html>



②審議会の実施状況

潮来市男女共同参画審議会は、潮来市男女共同参画基本条例に基づき設置された男女共同参画社会の形成促進に関する基本的かつ総合的な施策及び重要事項を調査審議する機関です。審議会では市から事業実施状況について報告を受け、その内容を審議し、市長に意見を述べる役割を担っています。

潮来市男女共同参画審議会は毎年度開催しており、審議会の会議録や会議の様子については、下記QRコードまたはURLからご覧いただけます。

開催年度	開催日時
令和4年度	令和5年3月16日（木）
令和5年度	令和5年11月7日（火）
令和6年度	令和7年1月27日（火）
令和7年度	令和7年8月5日（火）・令和8年1月15日（木）

<https://www.city.itako.lg.jp/page/page004803.html>



審議会の様子
(令和5年11月7日実施)



審議会の様子
(令和7年8月5日実施)

③広報・イベント・周知・啓発等

男女共同参画を推進するための広報・イベント・周知・啓発を行っています。

令和3年度

- ・ 基本計画周知・SDGs、DV防止等の啓発
- ・ 広報誌での男女共同参画に関する連載（知っとこ！男女共同参画）全18回掲載
- ・ 市内各公共施設へチラシやポスター等の掲示（男女共同参画週間・DV防止月間等）

令和4年度

- ・ SDGs、DV防止等の啓発
- ・ 市内各公共施設へチラシやポスター等の掲示（男女共同参画週間・DV防止月間等）
- ・ 令和4年12月9日（金）「仕事と子育て両立応援セミナー」実施（ハローワークと連携）
- ・ 令和5年1月11日（水）市職員向け研修「多様性理解の推進に関すること」実施（県出前講座）

令和5年度

- ・ SDGs、DV防止等の啓発
- ・ 市内各公共施設へチラシやポスター等の掲示（男女共同参画週間・DV防止月間等）
- ・ 令和5年10月27日（金）「仕事と子育て両立応援セミナー」実施（ハローワークと連携）
- ・ 令和5年11月23日（木）「未来を自分らしく生きるために-国連におけるジェンダー問題の軌跡-」実施（市講演会）

令和6年度

- ・ SDGs、DV防止等の啓発
- ・ 市内各公共施設へチラシやポスター等の掲示（男女共同参画週間・DV防止月間等）
- ・ 令和6年7月27日（土）「一人ひとりが輝く未来のために～WORKとLIFEを楽しもう！～」実施（県共催講演会）
- ・ 令和6年10月30日（水）「仕事と子育て両立応援セミナー」実施（ハローワークと連携）
- ・ 「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせ、パープルリボンツリーの設置・チラシの配布等



パープルリボン運動の様子



講演会の様子
（令和6年度実施）

④令和7年度アンケートの実施状況（概要）

基本計画の中間見直しを行うため、市民と事業所へアンケートを実施しました。男女共同参画について市民の理解は深まってきています。その理解がさらに実際の行動や環境に反映されることが今後の課題であり、さまざまな取り組みを行っていきます。

アンケート結果は基本目標の成果指標に反映されます。アンケート結果の詳細については資料編または下記QRコードまたはURLをご覧ください。また、基本計画策定時に実施したアンケートについても下記QRコードまたはURLをご覧ください。

1 市民アンケート

①調査の目的

本計画の中間見直しにあたり参考とするため、令和元年度に実施したアンケートに、「女性活躍推進のため必要なことを問う内容」や「地域活動に関する内容等」を追加して調査を実施しました。

②調査方法

調査対象	潮来市在住の満18歳以上の市民
調査方法	ウェブサイト上の回答フォームによる回収
調査時期	令和7年9月26日から11月20日

③調査内容

基本属性等、男女の生き方や家庭生活、職業、ワーク・ライフ・バランス、DV、防災対策、男女共同参画社会について

④回収結果

回答数135 有効回答数135

アンケート
QRコード
(令和元年度実施)
令和元年度URL

アンケート
QRコード
(令和7年度実施)
令和7年度URL

2 事業所アンケート

①調査の目的

本計画の中間見直しにあたり参考とするため、令和2年度に実施したアンケートと同内容の調査を実施しました。

②調査方法

調査対象	市内の従業員が50人以上の事業所（建設業のみ小規模企業者を含む）
調査方法	ウェブサイト上の回答フォームによる回収
調査時期	令和7年11月5日から11月30日

③調査内容

基本情報等、女性の積極的登用の取組み、育児・介護と仕事の両立支援への取組み、ワーク・ライフ・バランス、各種ハラスメント対策、男女共同参画社会の実現に向けて

④回収結果

回答数17 有効回答数17

アンケート QRコード
(令和2年度実施)
令和2年度URL

アンケート QRコード
(令和7年度実施)
令和7年度URL

3 基本目標の成果指標結果と最終年度の目標値

【基本目標1 成果指標】

指標① 「男は仕事、女は家庭」という考え方に『同感しない』人の（「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の合計）割合

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
—	—	—	—	男性70.0% 女性80.0%	男性83.6% 女性86.8%	男性85.0% 女性90.0%

指標② 潮来市男女共同参画基本計画の「内容を知っている」人の割合

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
—	—	—	—	20.0%	28.1%	55.0%

指標③ 教育現場における役職者（校長・教頭）に占める女性の割合【参考指標】

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
16.7%	0.0%	0.0%	11.1%	25.0% を維持	16.6%	30.0%

【基本目標2 成果指標】

指標① 市の男性職員の育児休業取得率

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
25.0%	66.6%	66.6%	66.6%	20%以上を 維持	66.6% (令和6年度)	85.0%

指標② 市における子育ての環境や支援の満足度【満足度4と5（高い）の合計】（子ども・子育て支援ニーズ調査）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
—	—	8.70%	—	20.0%	8.70% (令和5年度)	20.0%

指標③ ワーク・ライフ・バランスの実際において「家庭生活」または「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している」と回答した人の割合

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
—	—	—	—	40.0%	23.7%	40.0%

指標④ 市の審議会等委員に占める女性の割合

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
27.5%	33.9%	32.4%	30.2%	30.0%以上	26.5%	40.0%

指標⑤ 管理的地位にある職員に占める女性の割合

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
15.4%	15.4%	18.9%	18.5%	30.0%以上	21.2%	30.0%以上

指標⑥ 区長に占める女性の割合

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	3.0% (2人)	0.0% (0人)	3.0% (2人)

【基本目標3 成果指標】

指標① 潮来市男女共同参画総合相談窓口を「知っている」割合

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
-	-	-	-	20.0%	43.7%	55.0%

指標② 子宮頸がん検診、乳がん検診の受診率

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
子宮がん 15.9%	子宮がん 20.7%	子宮がん 20.8%	子宮がん 20.8%	ともに 50.0%	子宮がん 20.8%	ともに 60.0%
乳がん (X線) 13.3%	乳がん (X線) 23.1%	乳がん (X線) 22.0%	乳がん (X線) 24.9%		乳がん (X線) 24.9%	
					(令和6年度)	

指標③ 防災会議委員に占める女性の割合

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
9.1%	9.1%	13.0%	14.3%	18.0%	14.3%	20.0%

指標④ 消防団に占める女性の割合

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標 (令和7年度)	令和7年度	目標 (令和12年度)
1.4%	1.4%	1.6%	1.7%	3.0%	1.7%	3.0%

4 計画最終年度（令和12年度）に向けて

前項では「基本目標の成果指標結果と最終年度の目標値」を提示し、令和7年度の実際の数値（実数）が、目標を上回るものもあれば、残念ながら目標に届かないものもありました。令和7年度目標値より成果指標が上回っているものについては最終年度の目標値をより高く設定し、令和7年度目標値より成果指標が下回っているものについては基本的に令和7年度の目標値と同じ目標値を達成することとします。

目標値を達成するためには、令和7年度の実数を単に数値としてだけ捉えるのではなく、それにいたった理由とこれまでの取組みを振り返り検討することが大切となり、また、それを踏まえて、最終年度の目標値をどのように掲げ、その達成に向かっていかに取り組んでいくのかの検討が重要だと考えます。

以下では基本目標の指標ごとに最終年度に向けての取組等を記載し、これまでそして今後の活動によって、男女共同参画やダイバーシティについて、市民の皆さんの理解がより浸透し、より良い地域社会が実現するよう取り組んでまいります。

＊「市区町村女性参画状況見える化マップ」

内閣府が公開している全国の市区町村における女性の参画状況を可視化できるウェブツールです。全国の市町村における、首長、市区町村議会、公務員（管理職に占める女性の割合・男性職員の育児休業取得率等）、審議会、自治会、防災会議などの女性参画状況（数値・パーセンテージ）についてウェブサイトで検索でき、自治体間の比較もできます。

https://www.cao.go.jp/shichoson_map/?data=1&year=2023



＊「女性の活躍推進企業データベース」

厚生労働省が運営する企業の女性活躍に関する情報を検索・閲覧できるデータベースです。女性管理職比率、男女の勤続年数や賃金差、行動計画など企業が公表するデータをまとめて確認できます。就職活動や企業の取り組み比較に役立つ仕組みです。

<https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/>



○基本目標1・指標①「男は仕事、女は家庭」という考え方に『同感しない』人の（『同感しない』と「どちらかといえば同感しない」の合計）割合

この指標については、令和7年度の目標値（男性70.0%・女性80.0%）を同年度の実数（同83.6%・86.8%）が男性・女性ともに上回る結果となりました。これには、社会環境の変化や潮来市内での取り組みによって、職場・家庭・教育などで意識の変化を読み取ることができます。一方で、市民アンケートの問6イ「社会の意識や制度・慣行によって男

女が生き方について多様な選択ができていない」では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が84.5%を占めており、より高い最終年度の目標値を掲げることも大切だが、実際の行動や環境が変化するには何が必要かも検討しながら取り組んでまいります。

○基本目標1・指標② 潮来市男女共同参画基本計画の「内容を知っている」人の割合

この指標については、令和7年度の目標値（20.0%）を同年度の実数（28.1%）が上回る結果となりましたが、問25ア「男女共同参画社会基本法の内容を知っている人の割合」の36.3%と比べると見劣りする結果となりました。最終年度に向けては、問27「今後、男女共同参画について、市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか」の結果も参考にし、広報などで目標値を達成するばかりでなく、職場などの環境整備の推進が周知につながることも加味して取り組んでまいります。

○基本目標1・指標③ 教育現場における役職者（校長・教頭）に占める女性の割合【参考指標】

この指標については、令和7年度の目標値（25.0%を維持）を同年度の実数（16.6%）が下回る結果となりました。教育現場における人事は県教育委員会が決めるものであり、市が差配できるものではないため、実態を把握するための参考指標として取り扱います。一方で、最終年度の目標値については茨城県公立学校の管理職の女性割合の実数を参考に30.0%としました。潮来市の教育における男女共同参画やダイバーシティを重視する姿勢を示すためのものであり、実現に向けて間接的にでもできることに取り組んでまいります。

○基本目標2・指標① 市の男性職員の育児休業取得率

この指標については、潮来市役所の男性職員にフォーカスしたものになっていますが、市役所に限らずいずれの組織でも育児休業取得が浸透していくことを念頭に掲げられています。令和7年度の目標値（20%を維持）を同年度の実数（66.6%・令和6年度）が上回る結果となりました。最終年度の目標値については国の公務員に対する目標値である85.0%に向けて取り組んでまいります。今後は育児休業をただ取得するだけでなく、男性職員の育休取得について全体へ周知を行い、取得しやすい職場環境づくり（業務分担の見える化等）を目指していきます。また、取得率だけでなく取得期間や取得中の育児参加についても内容の充実を図り、総合的に育児休業取得を捉えて取り組んでまいります。

○基本目標2・指標② 市における子育ての環境や支援の満足度【満足度4と5（高い）の合計】（子ども・子育て支援ニーズ調査）

この指標については、令和7年度の目標値（20.0%）を実数（8.7%・令和5年度）が下回る結果となりました。また、事業所アンケート問15「貴事業所が男女共同参画を推進する上で、市に支援してほしいことは何ですか。」で「保育・介護サービスの充実」を選択した事業所が回答事業所の41.1%となっており、この結果からも潮来市内の福祉環境・支援整備のさらなる充実を求めていることが伺えます。最終年度の目標値は令和7年度の目標値のままとしますが、今後は市民アンケート・事業所アンケートの結果を踏まえ、課題点については、必要に応じてヒアリングを行うなど各課連携して状況を把握し、改善に努めてまいります。

○基本目標2・指標③ ワーク・ライフ・バランスの実際において『「家庭生活」または「地域・個人の生活」と「仕事」を両立している』と回答した人の割合

国の第6次男女共同参画基本計画（仮称）では「あらゆる分野における意思決定に女性が参画するなど、男女共同参画・女性活躍に係る取組を推進」と謳われており、これは、市計画における基本目標2・指標③、同指標④、同指標⑤、同指標⑥、基本目標3・指標③、同指標④にかかわるものです。

この指標については、令和7年度の目標値（40.0%）を同年度の実数（23.7%）が下回る結果となりました。最終年度の目標値は令和7年度の目標値のままとしますが、市民アンケート問14-1の『「家庭生活」または「地域・個人の生活」と「仕事」を両立したい』が54.8%で実際と理想の間での乖離が生じていることが重要な点であり、下回っている原因の追及、状況把握を行い、改善に努めてまいります。また、ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発を行い、市民の働き方改革に対する意識醸成を図ります。

○基本目標2・指標④ 市の審議会等委員に占める女性の割合

この指標については、令和7年度の目標値（30.0%以上）を令和4年度から令和6年度までの実数は上回っていましたが、令和7年度の実数（26.5%）が下回る結果となりました。女性の比率が30.0%を超えるとその意見が全体に浸透しやすくなるといわれており、まずは30.0%を超えることが必要ですが、最終年度の目標値については国の公務員の目標値である40.0%に向けて取り組んでまいります。一般公募枠などで一般の市民が関心をもって参加できるように、イベントなどでの周知や会議時間の柔軟化等（夜間・オンライン会議の導入等）を行い、誰もが参加しやすい環境を整えてまいります。また、市の審議会全体の合計の数値ばかりでなく、各審議会での比率も大切なため、女性がいらない審議会ゼロに向けて取り組んでまいります。

○基本目標2・指標⑤ 管理的地位にある職員に占める女性の割合

この指標については、令和7年度の目標値（30.0%以上）を同年度の実数（21.2%）が下回る結果となり、事業所アンケート問5「貴事業所の管理職に占める女性の割合」で「30%以上」と回答した事業所が11.8%となりました。これについては上述の基本目標2・指標④と同様に、潮来市役所はもちろん事業所等において、ロールモデルや働き方の工夫などの事例の情報収集・提供も含めて、最終年度には30.0%以上を達成できるよう取り組んでまいります。

○基本目標2・指標⑥ 区長に占める女性の割合

この指標については、令和7年度の目標値（3.0%）を同年度の実数が下回り0.0%の状態となっています。最終年度の目標値は3.0%のままとしますが、これを達成するには、広い意味では市民アンケート問30「女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか」の回答を市民に理解してもらうことが大切であり、区長の役職に絞れば区内での役割・役目を明文化し、区長になるまでのプロセスを明確にしていけることが重要です。役職はないが、女性が実務を担っている実態があることから、まずはその他役員への登用を促し、他の自治体の取り組みなどの情報提供もしながら、最終年度の目標が達成できるよう働きかけてまいります。

○基本目標３・指標① 潮来市男女共同参画総合相談窓口を「知っている」割合

この指標については、令和７年度の目標値（20.0％）を同年度の実数（43.7％）が大幅に上回る結果となりました。一方で、「あらゆる暴力の根絶に向けた啓発の強化」という観点からは、最終年度の目標にはより高い数値（50.0％）を掲げて、その実現につながるよう広報や SNS 等を活用し、相談窓口を周知してまいります。また、若年層に向けても市教育委員会や小中学校と連携をとり周知強化を図ってまいります。

○基本目標３・指標② 子宮頸がん検診、乳がん検診の受診率

この指標については、令和７年度の目標値（ともに 50.0％）を実数（20.8％と 24.9％・令和６年度）が下回る結果となりました。最終年度の目標値については国の目標値である 60.0％と同数値に設定しますが、受診率が低い要因の１つとして、この数値が市での受診分だけを把握していることもあります。国の報告では、市区町村が職域検診や人間ドックにおけるがん検診等の受診状況を十分に把握できていないことを課題としています。今後市は職域検診等の受診状況も含めて把握の仕組みを利用できるようになるため、これまでの統計の継続性を維持しながら、国の動向を注視し、より実態に合った受診率の把握に努めていきます。一方で、国の目標値が引き上げられるなかで、市の数値が令和４年度以降横ばい傾向であるため、受診の必要性を理解してもらい受診につながるよう、受診しやすい日時の設定や環境整備をすることで検診機会の創出を図ってまいります。また、未受診者への通知の再送や広報誌等を利用し、検診の周知に努めてまいります。

○基本目標３・指標③ 防災会議委員に占める女性の割合

この指標については、令和７年度の目標値（18.0％）を同年度の実数（14.3％）が下回る結果となりましたが、最終年度の目標値は 20.0％に高めます。市民アンケート問 23 の各設問でも女性の参加の重要性が読み取れるように、防災会議委員に一定の女性がいて、その意見が避難所運営や設計、備品調達等の現場の改善に波及することが望ましいと考えます。20.0％は最低ラインであり、防災において女性の視点は不可欠であることから、高めていくための課題を解明しながら組織の多様化及び向上に取り組んでまいります。

○基本目標３・指標④ 消防団に占める女性の割合

この指標については令和７年度の目標値（3.0％）を、同年度の実数（1.7％）が下回る結果となりました。最終年度の目標値は 3.0％のままとしますが、市民アンケート問 23 ウ、「女性消防団員等の育成や役員への女性登用を促進する」ことが「大変重要だと思う」「重要だと思う」を合わせた割合は 65.2％に上っています。県内外の事例も参考にしながら、男女を問わず有意義な活動ができるよう、消防団の役割・活動内容について再検討するとともに、活動周知や募集の PR、仕事と家庭の両立をしながら活動できる体制の整備等加入促進に努めてまいります。

また、市民の関心や参加が増すよう、子連れのできるイベントや会議の開催などの工夫も必要と考えられ、その実現に向けて働きかけてまいります。

潮来市第2期男女共同参画基本計画
(中間見直し版)

令和8年3月

発行・編集：潮来市 市長公室 企画政策課
〒311-2493 茨城県潮来市辻 626
TEL 0299-63-1111 (代表)
FAX 0299-80-1100
URL <https://www.city.itako.lg.jp>